

聴覚障害者にも働きやすい 職場環境ガイドブック

Ver.2.0

兵庫県立福祉のまちづくり研究所
〒651-2181 神戸市西区曙町 1070
兵庫県立総合リハビリテーションセンター内
電話 078-925-9283
Fax 078-925-9284
<http://www.assistech.hwc.or.jp>

オフィスの皆様へ

多様な人々を受け入れるために望ましいオフィス環境としてのユニバーサルデザインは何かという視点で、アンケート調査結果を基に、聴覚に障害をもつ内勤者の就労の場としてのデスク周りの情報伝達機器から事務室等の各部屋、廊下、トイレ、エレベーター等オフィス環境までのハード面における基本コンセプトをまとめています。

はじめに

聴覚障害者が働くオフィスのバリアフリーとユニバーサルデザイン

- このガイドブックは、聴覚障害者を内勤で雇用するにあたって、**ユニバーサルデザインの視点**で、誰にでも優しく、使いやすい快適なオフィスビルづくりをめざして、多様な人々に対応できるよう、聴覚障害者関係団体・行政や本人等に確認しながら、聴覚障害者の職場環境に配慮した**オフィスの設計**もしくは、既存の**オフィスの改善**をしていただく時のアドバイスができるよう作成しています。
- 身体障害者及び知的障害者について、一般労働者と同じ水準において常用労働者となり得る機会を与えるため、従業員が50人以上の民間企業は、定められた**法定雇用率2.0%**を達成するよう雇用に努める必要があります。
- また、このガイドブックが、**障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律**【略称：障害者差別解消法】（施行は、一部の附則を除き平成28年4月1日）の聴覚障害者に対する“合理的配慮”の一助にもなれば幸いです。
- 聴覚障害者にとっては、オフィスの「**情報保障**」がとても大事です。つまり、① 周りから本人の耳に色々な**情報**（職場の随時状況、周りの人の仕事の進み具合、色々な仕事や世間話等）が入ってこないこと、② 本人が知りたい**情報**（指示、打ち合わせ、会議や、朝礼の中身等）を聞き出しにくいこと、③ オフィスビルを取り巻く**情報**（案内放送や避難放送、インターホン、電話、トイレの音、ドアの向こうから来る音、廊下死角の足音等）が聞き取れないことで、色々なバリアが生じるのです。ここでは、このバリアが生じる原因を一つひとつ工学的に解決していきたいと思います。
- **ユニバーサルデザイン**（UD）は、より多様な人々に優しいデザインであって、必ずしもすべての人々に配慮したデザインではないことを肝に銘じ、そこに組み込まれなかった重度の情報障害者でもある聴覚障害者の**バリアフリー**（BF）化の推進を図り、聴覚障害者のオフィス職場環境におけるバリアの解決を図れるようにしました。
- ただ、聴覚障害者にはこのような配慮をというような一般的な対処法で進めるのではなく、これを参考に一人ひとりに応じた、ケースバイケースの配慮をすることが、働きやすい職場環境づくりへとつながり、聴覚障害者もそうでない人も、ともに働き続けられる環境になれば、幸いです。
- **兵庫県**では障害のある人もない人も、ともに働き、県民誰もが地域社会の一員として支え合い、もてる力を発揮して元気に活動できる「**ユニバーサル社会**」の**実現を推進**しています。
- アンケートは、兵庫労働局の情報開示で、2014年8月に兵庫県神戸市内の法定雇用率達成企業409社を対象に実施し、87社から回答をいただきました。（回収率21%）参考にしてください。

目次

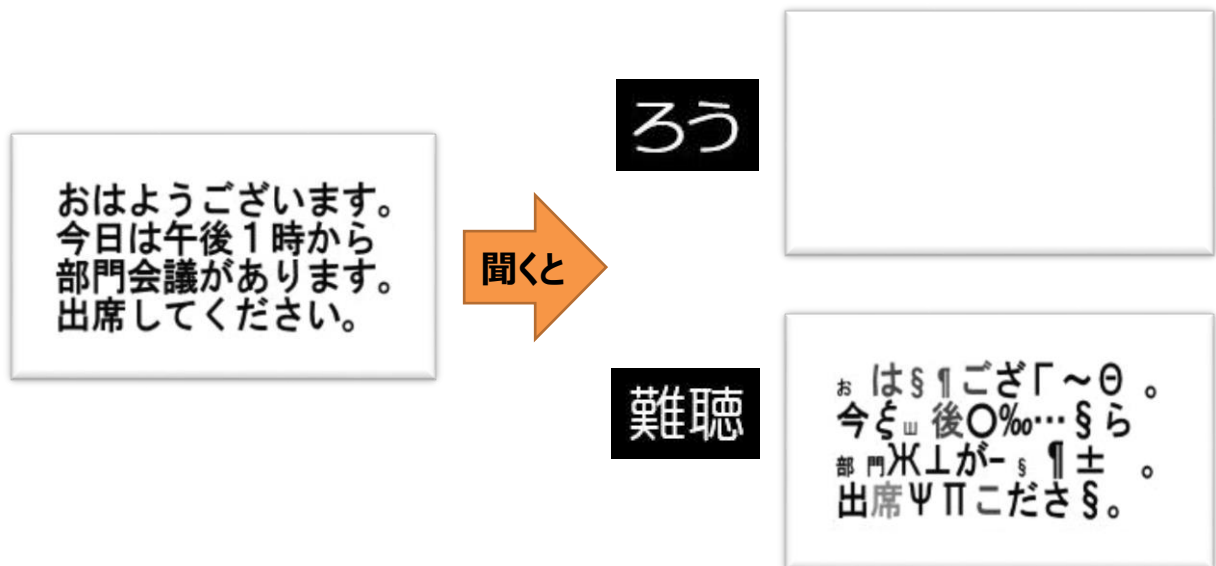
聴覚障害者の分類	1
聴覚障害者の特徴	2
聴覚障害者の雇用について	3
聴覚障害者との「会話への配慮」について	6
聴覚障害者との「連絡への配慮」について	8
聴覚障害者の「選択の配慮」について	11
聴覚障害者との「情報への配慮」について	12
聴覚障害者への「建物の配慮」について	16
職場環境改善のプロセスについて	21
業種について	22
ユニバーサルデザインとバリアフリーについて	23
理想的なオフィスのイメージ（イラストA）	24
聴覚障害者「会話の配慮」（イラストB）	25
聴覚障害者「連絡の配慮」（イラストC）	26
聴覚障害者「選択の配慮」（イラストD）	27
聴覚障害者「情報の配慮」（イラストE）	28
聴覚障害者「建物の配慮」（イラストF）	29
チェックリスト	30

このガイドブックは、聴覚障害者がオフィス内部で働く（**事務職・技術職等の内勤者**）ときの**ハード面**のバリアを解決するためのブックです。手話通訳や要約筆記など**ソフト面**の支援は、雇用支援機構、ハローワークや聴覚障害者団体等で色々な資料が出回っていますので、そちらを参照ください。

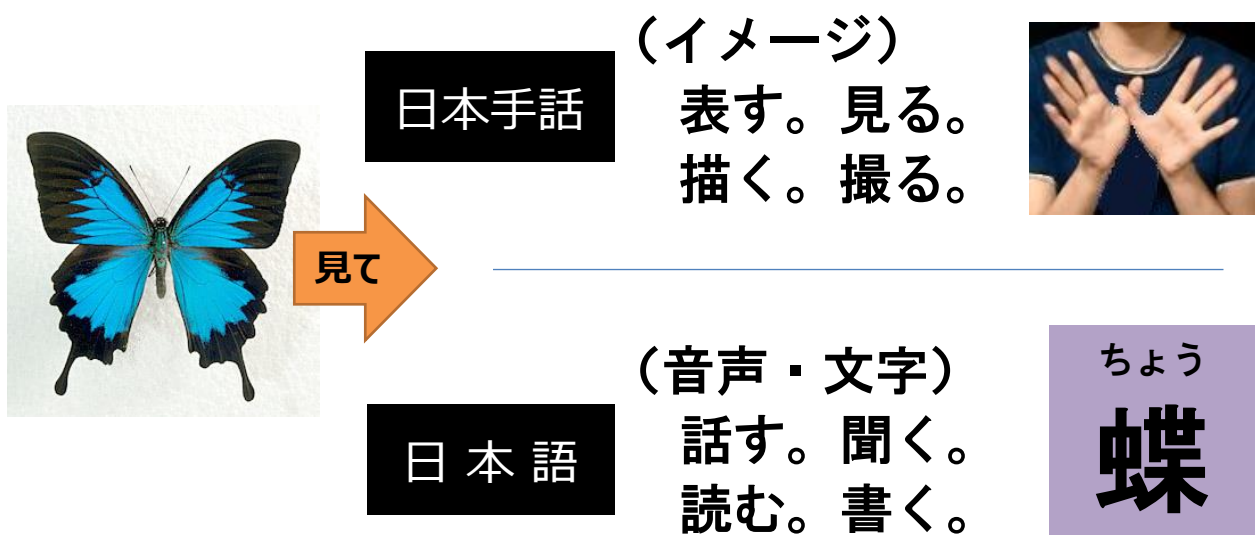
聴覚障害者の分類

分類

- 聴覚障害者は、聞こえの程度で大きく分けて「ろう」と「難聴」があり、これらは聞こえのイメージが異なります。



- 聴覚障害者が使用する言語は、生活環境によって、「日本手話」から「日本語」まで多岐にわたります。



★聞こえに困難の無い人を「聞こえる人（または聴者）」と呼びます。

聴覚障害者の特徴

特徴

- 聴覚障害者は、アイデンティティや使用する言語、聞こえの程度、聴覚障害の原因や種類が様々であり、まったく聞こえない「ろう」から、わずかに聞こえる「難聴」まで**多岐**にわたります。

➡ 伝搬方向
 聴覚障害者
 聴覚障害者以外 [ここでは聴者]



聴力 91 d B 以上※

(身体障害者手帳は両耳 70 d B 以上が対象)

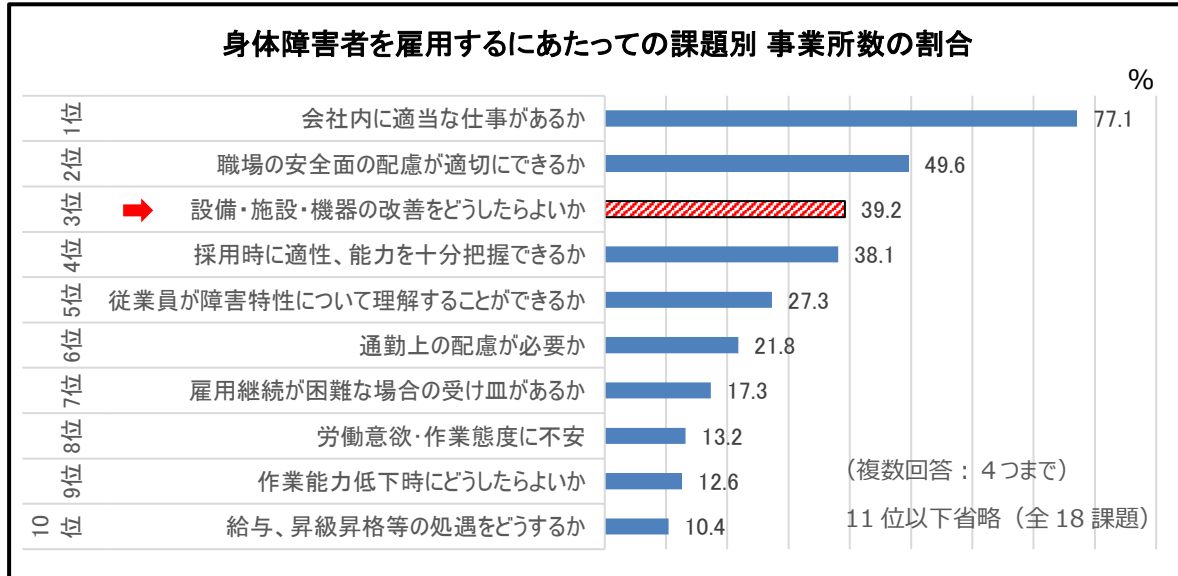
聴力 21 d B 以上※

※ WHO(世界保健機関)基準

補聴器や人工内耳は、「難聴」が少しでも聞こえるようにすることがメインですが、「ろう」も聞き分けは出来ないが声や音そのものだけは感じ取ることが出来るように付けている方もいます。

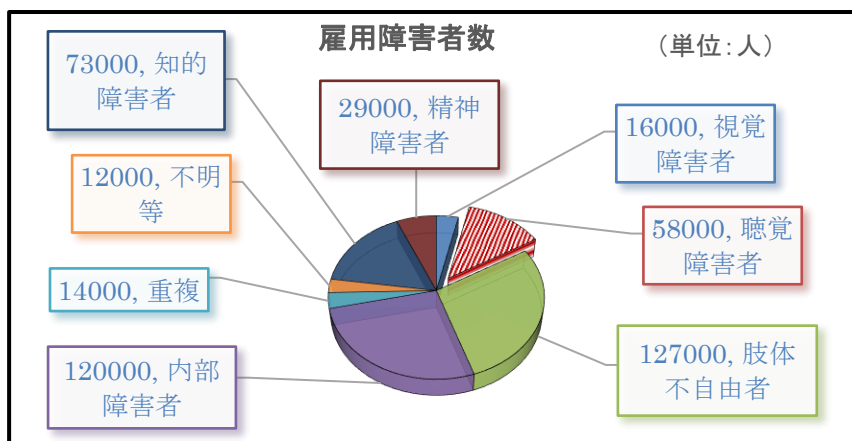
聴覚障害者の雇用について

● 雇用するにあたっての課題別事業所数の割合（参考：厚生労働省）



Point! 厚生労働省「平成20年障害者雇用実態調査」※の身体障害者雇用上の課題で、“設備・施設・機器の改善”が18項目の中で3位と上位にあることが分かります。

● 全障害者雇用数に対する聴覚障害者の割合（参考：厚生労働省）



H20年 障害者雇用実態調査
(従業員5人以上の規模)

Point! 厚生労働省「平成20年障害者雇用実態調査」※の全雇用障害者数の合計は、448,000人です。このうち、聴覚障害者の雇用は、58,000人で、全雇用障害者数合計の12.95%です。

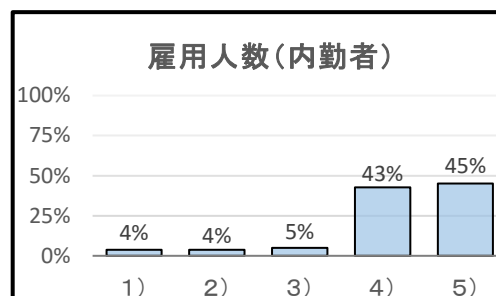
※5年おきに調査実施

聴覚障害者の雇用について

● 雇用している内勤者数 [アンケート調査結果]

貴社の雇用人数（内勤者のみ）をお聞かせください。

- | | |
|-------------|-------|
| 1) 1000以上 | = 3社 |
| 2) 500～999人 | = 3社 |
| 3) 300～499人 | = 4社 |
| 4) 100～299人 | = 35社 |
| 5) 99人以下 | = 37社 |



★内勤者とは？

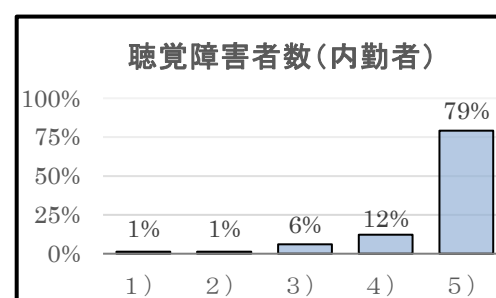
総務・人事・経理・技術・設計・研究・開発等オフィスビル内で働く者を指します。

Point! 今回の調査対象企業は、ハローワーク神戸と灘に登録されていて、かつ障害者雇用率を達成している企業です。

● 聴覚に障害をもつ内勤者数 [アンケート調査結果]

内勤者で、身体障害者手帳（法定雇用率の聴覚障害 1 級～ 6 級）を持つ聴覚障害者は、何人おられますか。※ 1 級は重複のみ

- | | |
|----------|-------|
| 1) 10人以上 | = 1社 |
| 2) 5～9人 | = 1社 |
| 3) 3～4人 | = 5社 |
| 4) 1～2人 | = 10社 |
| 5) 0人 | = 65社 |



Point! 法定障害者雇用率では、聴覚に障害がある場合、話が聞き取れないとか音声のみの電話や接待が出来ない等、身体障害者手帳を所持している方が対象で、軽度を理由に身体障害者手帳がもらえない聴覚障害者もいます。

聴覚障害者の雇用について

A-01 職場環境の改善について

聴覚に障害をもった従業員を雇う場合（含雇用中）、職場環境についてどのようにしたいと思いますか。



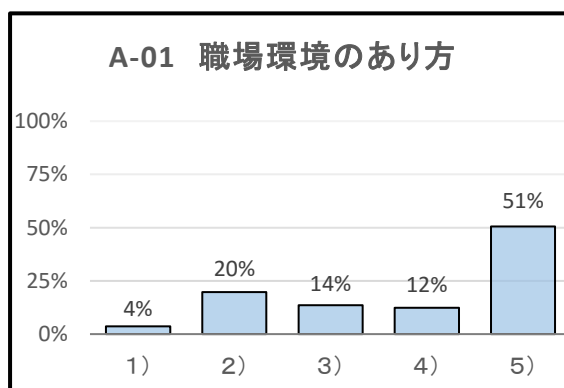
聴覚に障害をもった従業員の安定した雇用を維持するために、作業施設や設備のバリアを改善したり、アプリで支障したりする場合は、経済的負担の軽減を図るために“**障害者雇用納付金制度に基づく各種助成金**（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）”等があります。

また、厚生労働省サイトには、“**事業主の方のための雇用関係助成金**”があり、検索してみるのも良いでしょう。

★ウェブサイト：【**高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者 助成金**】+検索
<https://www.jeed.or.jp/disability/subsidy/01.html>



障害者差別
解消法は、2016年
4月に施行します。



★ウェブサイト：【**障害者差別解消法**】+検索
<http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html>

アンケートQ&A 結果

- 1) 本人のあらゆる職場バリアを改善し、他の健聴従業員と同じ条件で雇用したい。 = 3社
- 2) 本人のバリアは周りに協力をお願いして、他の健聴従業員と一緒に雇用したい。 = 16社
- 3) 聴覚に障害があっても、視覚能力を仕事に生かしたい。 = 11社
- 4) 本人の出来ない所は、他の健聴従業員にまわしたい。 = 10社
- 5) 聴覚に障害をもった従業員を雇用するのは難しい。 = 41社

聴覚障害者との「会話への配慮」について

B-01 オフィスの事務上の指示や説明について

聴覚に障害をもつ従業員や来客で、**指示**や**説明**がスムーズにいくために、普段からいつでも（絵や文字で）筆談でやり取りできるよう、「メモ用紙」や「筆談ボード」を置いていますか。



かきポンくん



コミュニケーションボード

日本語の苦手な聴覚障害者に対しては、筆談の場合、簡単な表現を使う等の配慮が必要です。



聴覚障害者との会話の1つが、絵や文字が書ける「筆談ボード」です。付属のペンで書きますが、書いた内容を一度に消せる便利な機能が付いています。書き残して渡す場合は、通常の「メモ用紙」を利用してください。聴者同士でも、内容を図示することで会話がスムーズにいくて便利です。

P25 イラスト B 参照

★メーカーサイト：【携帯筆談器 コミュニケーションボード】+検索

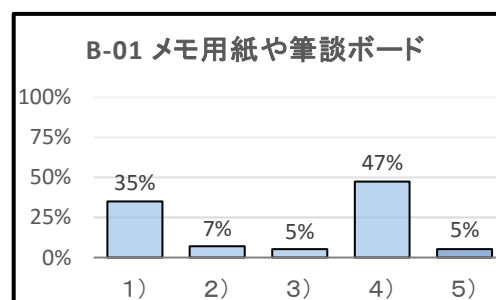
<http://cobo.awa-g.net/cobo/>

★メーカーサイト：【簡易筆談器 かきポンくん】+検索

http://www.wp-shop.net/itemview/template32_1_10.html

アンケート Q&A 結果

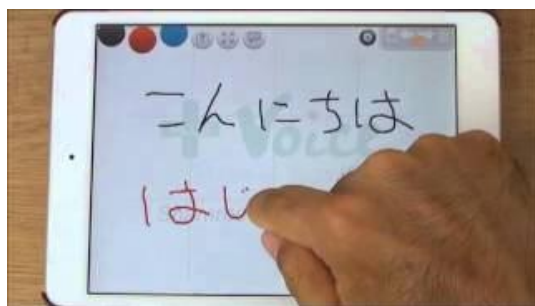
- | | |
|---------------|--------|
| 1) 置いている | = 20 社 |
| 2) 1年以内に置きたい | = 4 社 |
| 3) 数年以内には置きたい | = 3 社 |
| 4) 置く予定はない | = 27 社 |
| 5) 方法が分からない | = 3 社 |



聴覚障害者との「会話への配慮」について

B-02 オフィスでの事務上の対話について

聴覚に障害をもつ従業員と1対1で対話ができるよう、手話・筆談・口話のほかに、常時携帯できるスマホやタブレットの「手話辞典、音声文字変換アプリ、手書きアプリ等」も使っていますか。



UD 手書き



音声を認識し
文字に変換
するアプリ

こえとら または UDトーク®



聴者が聴覚障害者に話しかける時の音声を文字に変換するアプリは、100%正確ではないですが、「UDトーク」「こえとら」等があります。手話中心の聴覚障害者で、文字が読めない方には、タブレット等による「UD手書き」「遠隔手話通訳」や手話通訳者派遣を利用する方法もあります。

P25 イラスト B 参照

★アプリサイト：【UD手書き】+検索

<http://plusvoice.jp/UDtegaki/>

★アプリサイト：【こえとら】または【UDトーク】+検索

<http://www.koetra.jp/>

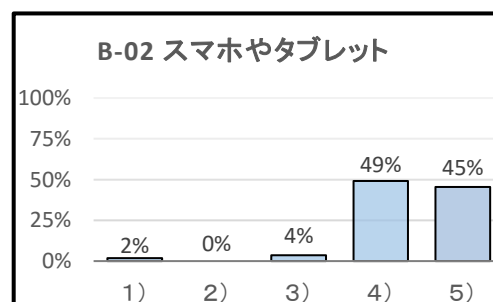
<http://udtalk.jp/>

★実践事例：【鳥取県 ICT を活用した遠隔手話通訳サービス】+検索

<http://www.pref.tottori.lg.jp/239848.htm>

アンケート Q&A 結果

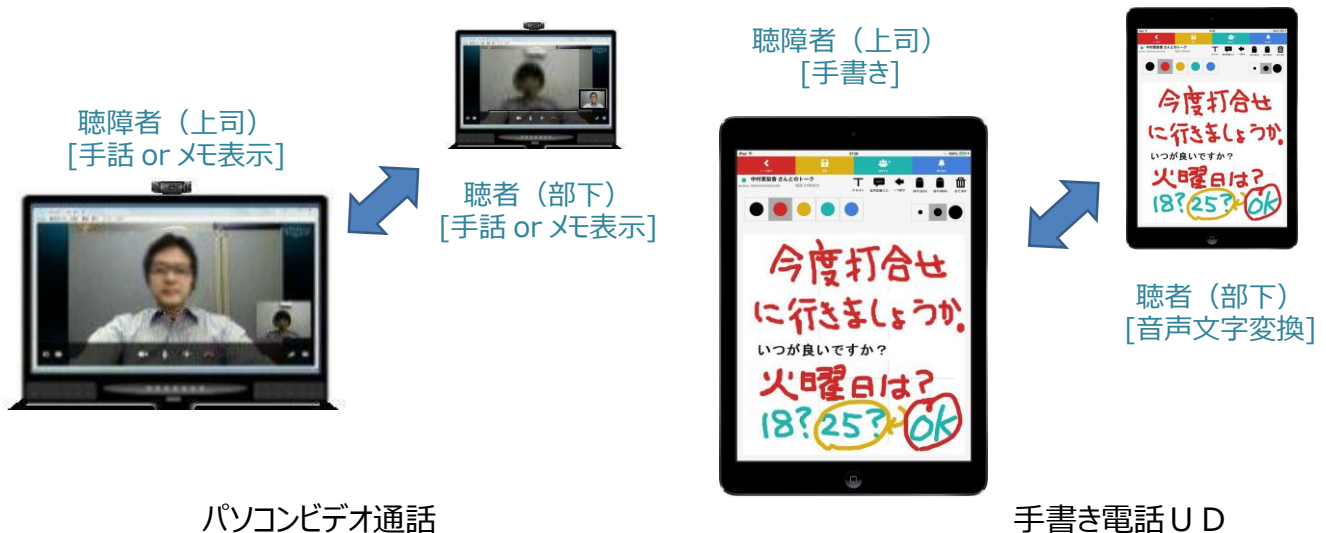
- | | |
|-----------------------|-------|
| 1) 使っている | = 1社 |
| 2) 1年以内に使いたい | = 0社 |
| 3) 数年以内には使いたい | = 2社 |
| 4) 使う予定はない | = 27社 |
| 5) 社員用スマホやタブレットが存在しない | = 25社 |



聴覚障害者との「連絡への配慮」について

C-01 オフィスの事務室の内部連絡を取ることにについて

聴覚に障害をもつ従業員にも内部で連絡を取ることができるよう、障害者のデスク（例：設計部）とよく利用する相手（例：設計部の上司や総務部の担当等）のデスクとの間に「映像モニター付き」のパソコンか IP テレビ電話（共に内部 LAN 等で接続）を取りつけていますか。



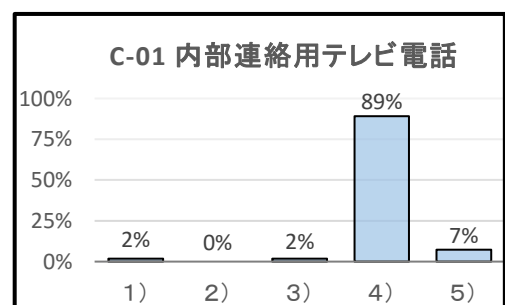
離れた席では、難しいと考えずにパソコン同士で市販の Web カメラを取り付けて「スカイプ」、
「LINE」、「メッセージ」等を導入した「ビデオ通話」を活用するか、「テレビ電話」や「手書き電話
U D」を活用すれば、手話や筆談の表示やキー入力表示ができて、連絡が円滑になりますし、他に
聴者の電話と聴覚障害者のビデオ通話をつないだ「電話リレーサービス」を利用する方法もあります。

★メーカーサイト：【NTT IP テレビ電話端末】+ 検索
<http://flets-w.com/hikaridenwa/service/tvtel/>
★アプリサイト：【手書き電話 U D】+ 検索
<http://tegakidenwa.jp/>

P26 イラスト C 参照

アンケート Q&A 結果

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1) 取りつけている | = 1 社 |
| 2) 1 年以内に取りつけたい | = 0 社 |
| 3) 数年以内に取りつけたい | = 1 社 |
| 4) 取りつける予定はない | = 49 社 |
| 5) インtranet (LAN) が存在しない | = 4 社 |



聴覚障害者との「連絡への配慮」について

C-02 オフィスのインターホンについて

聴覚に障害をもつ従業員や来客に対応できるよう、受付と事務室（自席）の間のインターホンに相互の顔が見える「映像モニター」を取りつけていますか。



音声インターホンだけでなく、内部の受付係と外部の利用者に「**双方向式の映像モニター**」が間についていると、お互いの顔が見えて聴覚に障害をもつ従業員や来客にも安心です。また、聴者にも声だけでなく、顔も確認できて安心です。

P26 イラスト C 参照

★メーカーサイト：【オフィス テレビインターホン アイホン】+検索

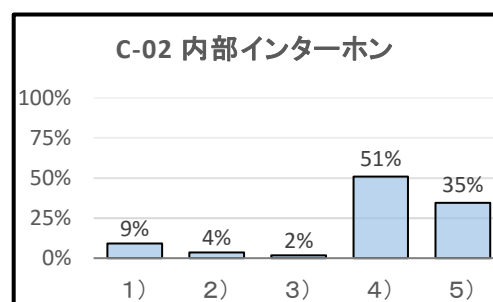
<http://www.aiphone.co.jp/products/business/>

★メーカーサイト：【フレッツフォン オフィス テレビインターホン】+検索

<http://www.neoeng.jp/product/tvtel/inter.html>

アンケートQ&A 結果

- | | |
|-----------------|--------|
| 1) 取りつけている | = 5 社 |
| 2) 1年以内に取りつけたい | = 2 社 |
| 3) 数年以内には取りつけたい | = 1 社 |
| 4) 取りつける予定はない | = 28 社 |
| 5) インターホンが存在しない | = 19 社 |



聴覚障害者との「連絡への配慮」について

C-03 オフィスの更衣室や事務室について

従業員の更衣室や事務室に人が入ることが、聴覚に障害をもつ従業員にも連絡できるよう、入口に「床センサーマット」か「押ボタン」を付けて、室内の見える所に「お知らせランプ」か「光るチャイム」を置いていますか。



聴覚に障害をもつ従業員や来客が、目で見て分かるよう、入口に「床センサーマット」か、呼出しの「ボタン」を取り付け、本人ロッカーやデスクに、「お知らせランプ」か「光るチャイム」を設置していると安心です。

P26 イラスト C 参照

★メーカーサイト：【自立コム 企業 一覧】+検索

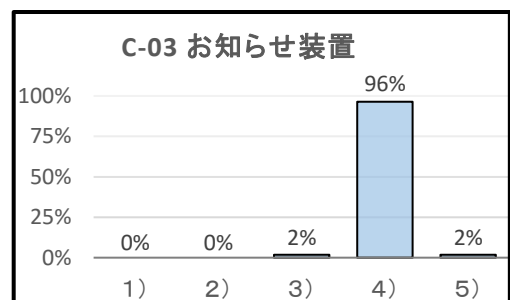
<http://www.jiritsu.com/products/list.php?group=E&cat=23>

★メーカーサイト：【光るチャイム パナソニック】+検索

<http://www2.panasonic.biz/es/densetsu/ha/signal/chime/products01.html>

アンケート Q&A 結果

- | | |
|-----------------|--------|
| 1) つけている | = 0 社 |
| 2) 1年以内につけたい | = 0 社 |
| 3) 数年以内にはつけたい | = 1 社 |
| 4) つける予定はない | = 53 社 |
| 5) 制限でストロボが使えない | = 1 社 |



聴覚障害者の「選択の配慮」について

D-01 オフィス社員食堂等の注文について

社員食堂や売店等の注文には、聴覚に障害をもつ従業員も自分で選びやすいよう、「自動販売機」等で食券や商品を販売または、事前に食べ物等を並べる「セルフチェック方式」をとっていますか。



声で注文しなくても
自分で選択できる
ための配慮



社員食堂の場合、メニューを細かく（温冷のどちらかとか、量の大小とか等）分類した「自動食券販売機」を設置するか「セルフチェック方式」をとるか等で、聴覚に障害を持つ従業員や来客が配膳コーナーの配膳係に口頭で説明しなくても伝わるように工夫していると、助かります。

P27 イラスト D 参照

ご飯	ご飯	ご飯
(大)	(中)	(小)
¥200	¥150	¥100

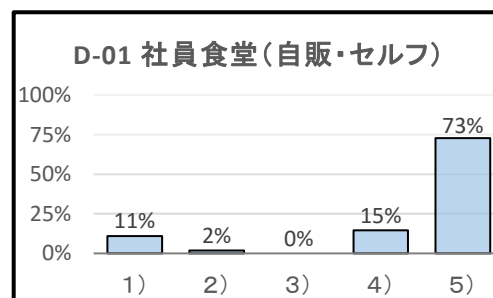


ご飯	ご飯	ご飯
		
¥200	¥150	¥100

手話中心の聴覚障害者の場合は、ボタンに絵や写真を付けると、より分かりやすいです。

アンケート Q&A 結果

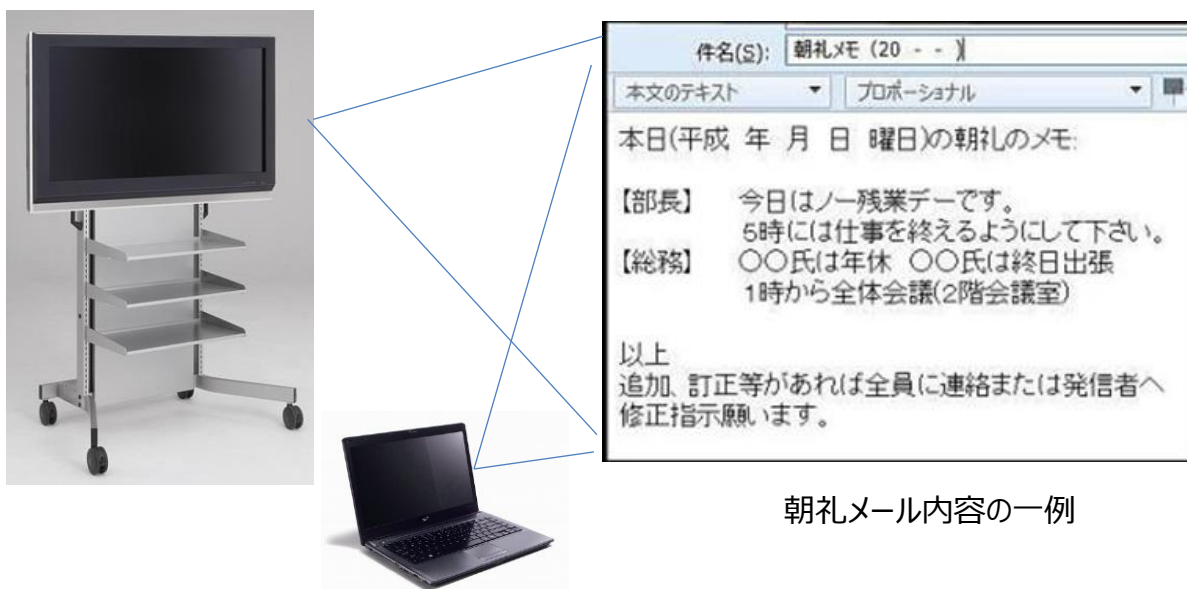
- | | |
|-----------------------|--------|
| 1) とっている | = 6 社 |
| 2) 1年以内にとりたい | = 1 社 |
| 3) 数年以内にとりたい | = 0 社 |
| 4) 事前販売やセルフチェックの予定はない | = 8 社 |
| 5) 社員食堂が存在しない | = 40 社 |



聴覚障害者との「情報への配慮」について

E-01 オフィスの朝礼について

聴覚に障害を持つ従業員にも、“朝礼”の話の内容が分かるよう、朝礼の直後に「大型モニター」や「社内メーリングリスト」等で、当日の作成当番が朝礼の内容を**絵や文字情報**で流していますか。



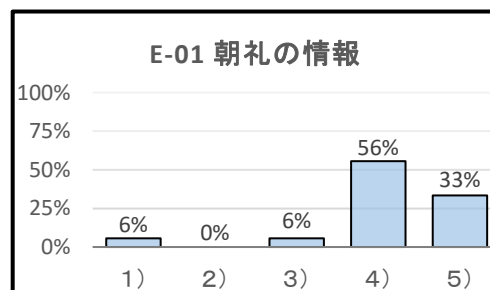
朝の朝礼等**社内情報**は、大事な情報もありますので、当番制等で発信者が**メールやメッセージボード**等で全員へ情報を提供することが大事です。聴覚に障害をもつ従業員だけでなく、出張や休まれている従業員にも情報がいきわたり、戦力が高まります。

日本語の苦手な聴覚障害者に対しては、筆談の場合、簡単な表現を使う等の配慮が必要です。

P28 イラストE 参照

アンケートQ&A 結果

- | | |
|--------------------|------------|
| 1) 流している | = 3社 (3社) |
| 2) 1年以内に流したい | = 0社 (0社) |
| 3) 数年以内に流したい | = 3社 (1社) |
| 4) 朝礼はあるが支援は行っていない | = 30社 (6社) |
| 5) 朝礼自体が存在しない | = 18社 (5社) |



() は、うち聴覚障害者を雇用している企業数 (無回答2社)

聴覚障害者との「情報への配慮」について

E-02 オフィスの会議（含研修等）の情報保障について

会議や研修等の聴覚に障害を持つ従業員の情報保障に、手話通訳者か要約筆記者を設置する方法か、担当者が「メモ用紙」で、手書き記入もしくは、複数台のパソコンやスマホで、担当者に「編集入力者」として協力してもらう方法をとっていますか。



聴覚に障害をもつ従業員にも会議の内容がつかめるようにするには、日本語を十分習得できなかった方には「手話通訳」の配置が必要です。日本語が分かる方には、「ノートテイク」とか、編集入力者を決めることで、要約筆記アプリの captiOnline を使った「文字入力通訳」とか、UDトーク等音声を文字に変換表示するアプリを使って表示する「音声認識通訳」とかで、情報保障すると活躍の場が広がります。

★アプリサイト：【UDトーク】+検索

<http://udtalk.jp/>

★アプリサイト：【captiOnline】(筑波技大) +検索 (インターネットブラウザ用)

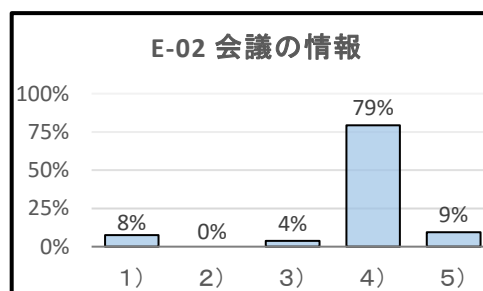
<http://capti.info.a.tsukuba-tech.ac.jp/>

P28 イラストE 参照

アンケートQ&A 結果

- | | |
|--------------------|------------|
| 1) 取っている | = 4社 (4社) |
| 2) 1年以内に取りたい | = 0社 (0社) |
| 3) 数年以内に取りたい | = 2社 (0社) |
| 4) 会議はあるが支援は行っていない | = 42社 (8社) |
| 5) 会議自体は存在しない | = 5社 (3社) |

() は、うち聴覚障害者を雇用している企業数 (無回答2社)



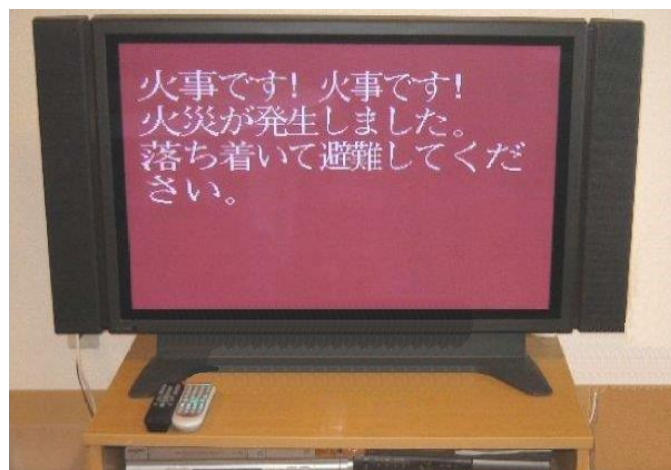
聴覚障害者との「情報への配慮」について

E-03 オフィスの非常時の通知について

オフィス火災等で聴覚に障害をもつ従業員や来客にも視覚的に分かるよう、感知器に連動する「非常音声放送」と共に、「電光案内板（絵や字幕）」もつけていますか。



標準型6文字



自動火災報知設備や非常放送設備と連動して、自動的に火災情報を電光板やテレビで「文字」表示。
(火災情報を「発報時」「火災確定時」「非火災時」の3段階等で表示。)



視覚的にも非常時の情報を知らせることは、すべての人にとって有効です。特に聴覚に障害をもつ従業員や来客が、目で見えて分かるよう、警報と連動で光る「フラッシュ」や「字幕電光板」がついていると安心です。もちろん通常は、“お知らせ”や“広告表示”もできます。

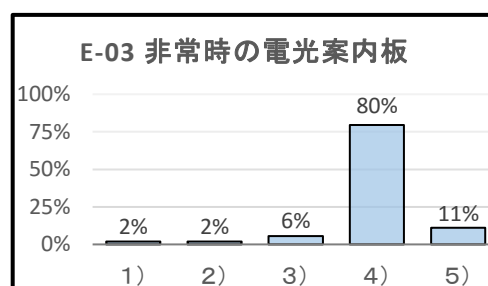
P28 イラストE 参照

★ウェブサイト：【非常文字表示装置】+検索

<http://www2.panasonic.biz/es/catalog/lighting/products/nsl/pdf/ZFCT1A217-949.pdf>

アンケートQ&A結果

- | | |
|-----------------|-------|
| 1) つけている | = 1社 |
| 2) 1年以内につけたい | = 1社 |
| 3) 数年以内にはつけたい | = 3社 |
| 4) つける予定はない | = 43社 |
| 5) 非常放送装置が存在しない | = 6社 |



聴覚障害者との「情報への配慮」について

E-04 オフィスのレストルームや社員食堂などにあるテレビについて

聴覚に障害をもつ従業員や来客にもテレビが見やすいよう、映像と字幕が分離されたテレビを置いていますか。



(字幕と映像を分離 + 手話通訳付)

メーカー無し (「アイドラゴン」に接続)

[best]



(字幕と映像を分離)

シャープ

「better」



(映像の上に字幕を表示)

パナソニック、ソニー、日立、東芝 等

[normal]



聴覚障害者には、耳で聞く代わりに、目で情報を読み取りますので、テレビに字幕が必要です。ただ、字幕には、映像と分離できるもの (2014 年現在では、シャープ製のテレビのみ) が望ましいです。手話が必要な聴覚障害者には、CS の「アイドラゴン」につなぐことで手話を見ることができます。

※ 地上波テレビの字幕放送番組の場合は、テレビリモコンの「字幕」ボタンを押していただくと、表示できます。



★ウェブサイト：【シャープ 字幕を表示する】+ 検索

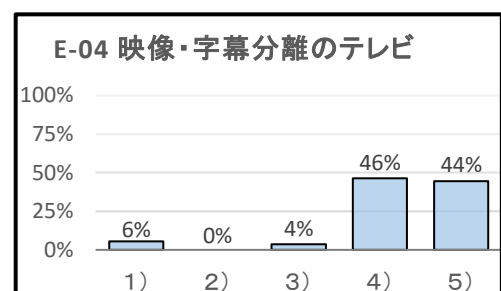
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/doc/web_mn/lc24mx1/MX1_020_0040.html

★ウェブサイト：【目で聴くテレビ】+ 検索 (アイドラゴン)

<http://www.medekiku.jp/about/view.html> (「番組を見るには」をクリック)

アンケート Q&A 結果

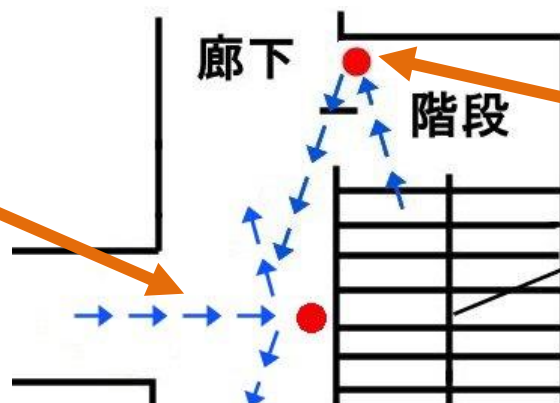
- | | |
|---------------|--------|
| 1) 置いている | = 3 社 |
| 2) 1年以内に置きたい | = 0 社 |
| 3) 数年以内に置きたい | = 2 社 |
| 4) 置く予定は無い | = 25 社 |
| 5) テレビは置いていない | = 24 社 |



聴覚障害者への「建物の配慮」について

F-01 オフィスの廊下の交差点や階段踊り場について

聴覚に障害をもつ従業員や来客にも分かるよう、交差する廊下や階段の踊り場等、折れ曲がるところで、音が聞こえず見通しがきかない死角に「衝突防止用ミラー」を付けていますか。



● 死角にミラーを設置（平面図）



聴覚に障害をもつ従業員や来客も、曲がり角の見えない所から人が近づいて来ていることを音が無くても分かるように、天井か壁に広いエリアを映せる「衝突防止ミラー」が取り付けしていると安心です。見通しの悪い廊下や階段では、一般の方も安心して通れます。

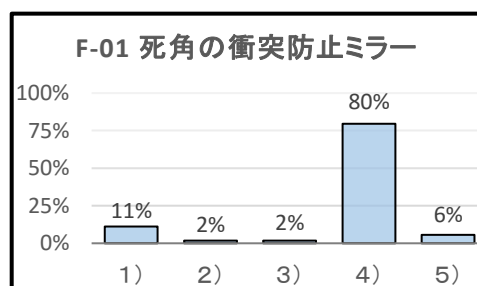
P29 イラストF 参照

★メーカーサイト：【コミー FFミラー通路】+検索

<http://www.komy.co.jp/special/%E6%96%B0%E7%99%BB%E5%A0%B4-ff%E3%83%9F%E3%83%A9%E3%83%BC%E9%80%9A%E8%B7%AFpat-patp/>

アンケート Q&A 結果

- | | |
|--------------------|-------|
| 1) つけている | = 6社 |
| 2) 1年以内につけたい | = 1社 |
| 3) 数年以内にはつけたい | = 1社 |
| 4) つける予定はない | = 43社 |
| 5) 交差する廊下や階段が存在しない | = 3社 |



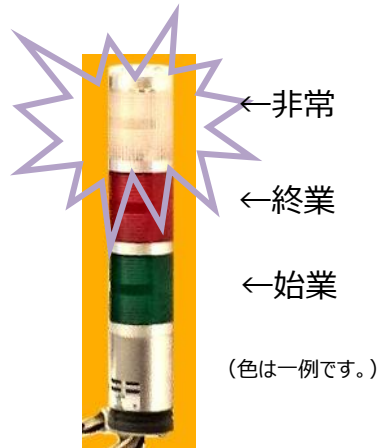
聴覚障害者への「建物の配慮」について

F-02 オフィスの避難について

オフィス火災等で聴覚に障害をもつ従業員や来客にも分かるよう、感知器に連動する非常音声放送と共に、非常用「発光フラッシュ」もつけていますか。



天井についたフラッシュランプ



パトライト シグナルタワー



誘導灯についた点滅ランプ



聴覚に障害をもつ従業員や来客が、「非常」が目で見えて分かるよう、感知器等に連動する「フラッシュ」または「点滅」がついていると安心です。時計のチャイム音に反応する「始業」、「終業」のランプも付くと、更に安心です。特に点滅装置付の緑色の誘導灯は、コスト面では、点滅しないものよりわずかに1～2割高いだけです。点滅を設置することで、すべての人に分かり、安全安心です。

P29 イラストF 参照

★メーカーサイト：【東芝ライテック 東芝ライテック LED 誘導灯 点滅形】+検索

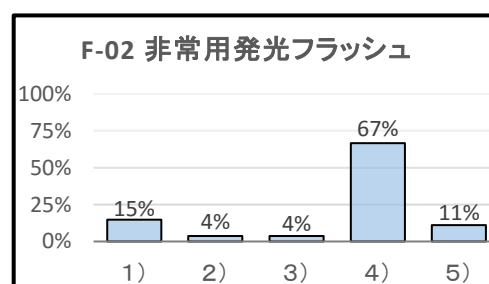
http://www.tlt.co.jp/tlt/products/facility/facility_guide_light/led_tenmetsu_ceiling/led_tenmetsu_ceiling.htm

★メーカーサイト：【パトライトストア LED 積層信号灯】+検索

https://www.patlitestore.jp/index.php?main_page=index&cPath=70_71

アンケート Q&A 結果

- | | |
|-----------------|-------|
| 1) つけている | = 8社 |
| 2) 1年以内につけたい | = 2社 |
| 3) 数年以内につけたい | = 2社 |
| 4) つける予定はない | = 36社 |
| 5) 非常放送装置が存在しない | = 6社 |



聴覚障害者への「建物の配慮」について

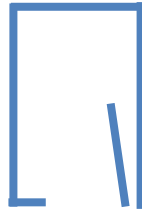
F-03 オフィスの便所の中の大便秘器ブースについて

聴覚に障害をもつ従業員や来客にも分かるよう、トイレブース（仕切り壁と扉がセット）の扉は、空き
の時「**常時開いているタイプ**」にしていますか。



空き↑ 空き↑ 使用中↑

片開き型ドア



常時閉まっている扉の場合は、外部から見て**使用中**の様子が分かりやすい鍵を取り付けるだけでも効果があります。

[写真]

トイレ用表示付 1100-P スライドボルト



狭いところでも対応できる



アール型ドア



狭いところでも対応できる



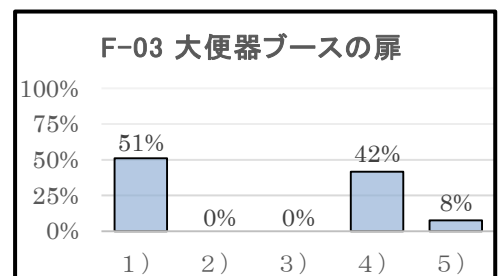
折り型ドア



聴覚に障害をもつ従業員や来客には、「空き」の時に「**常時開いている扉**」の方が、ノックが不要で分かりやすいです。また、中にいる時にもノックされる音が聞こえない不安も少なくなります。また、水を流す音等のメロディを流す装置は、メロディが流れている間だけ「**ランプ**」が点灯しているとありがたいです。一般の方でも**常時開放型**の扉は、遠くから見て空きかどうか分かりやすいです。

アンケート Q&A 結果

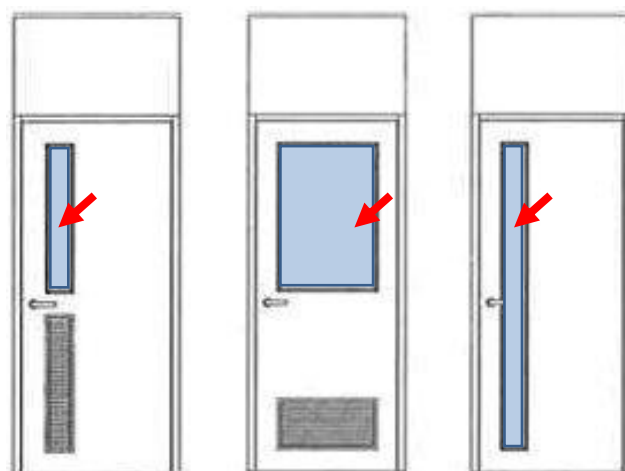
- | | |
|-----------------------|--------|
| 1) 常時開いている | = 27 社 |
| 2) 1年以内に常開へ切替える工事をしたい | = 0 社 |
| 3) 数年以内に常開へ切替える工事をしたい | = 0 社 |
| 4) 常開タイプへ改装する予定はない | = 22 社 |
| 5) トイレブースは存在しない | = 4 社 |



聴覚障害者への「建物の配慮」について

F-04 オフィスの事務室（含会議室等） 出入口について

聴覚に障害をもつ従業員や来客にとって、部屋の外からまたは部屋の中から人が近づいて来ていることが一目で分かるよう（向こう側のノック、足音やノブの音は聞こえない）、出入口ドアに「**ガラス小窓**」を取り付けていますか。



出入口ドアに「小窓」（すりガラス等）があると、向こうの様子が見えて安心して開閉できます。

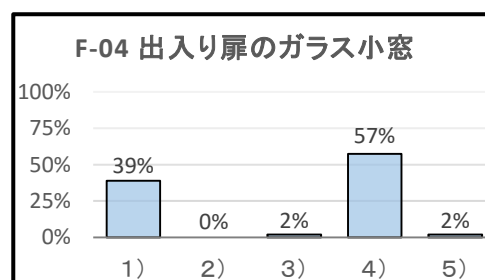


聴覚に障害をもつ従業員や来客にも、ドアの向こうから人が近づいて来ている音が聞こえなくても分かる「**ガラス小窓**」が付いていると安心・安全です。一般の方でも、ガラス越しに様子が見え、安心して出入りできます。

P29 イラストF 参照

アンケート Q&A 結果

- | | |
|-------------------|-------|
| 1) つけている | =21 社 |
| 2) 1年以内に取り付けたい | = 0 社 |
| 3) 数年以内に取り付けたい | = 1 社 |
| 4) 取り付ける予定は無い | =31 社 |
| 5) 防火戸等で小窓はつけられない | = 1 社 |



聴覚障害者への「建物の配慮」について

F-05 オフィスのエレベーターについて

エレベーター扉には、定員オーバーやドアが閉まる時の音声アナウンスや閉じ込め時のお知らせに聴覚に障害をもつ従業員や来客にも分かるよう、音情報に加えて視覚的に分かる「ドアシグナルランプ」と、かご内の「閉じ込め時の係員表示のインターホン」の両方をつけていますか。



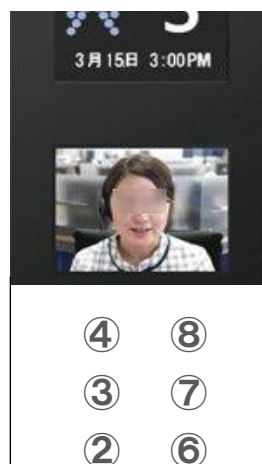
【ドアシグナル】

開・閉 3 秒前

…点滅

定員オーバー時

…点灯



【案内画面】

通常時

…広告・案内等

非常停止時

…顔モニター表示



聴覚に障害をもつ従業員や来客のために、相手の顔が見える「モニター付きインターホン」や、定員オーバーやドアが閉まる時の音声アナウンスに加えて、視覚的に分かる「ドアシグナルランプ」の点滅（開く・閉まる3秒前から）、点灯（定員オーバー時）が設置されていると安心です。

★メーカーサイト：【エレベーター オプション】+検索

三菱：<http://mitsubishielectric.co.jp/elevator/product/option/index.html>

東芝：<http://www.toshiba-elevator.co.jp/elv/new/elevator/option/service.html>

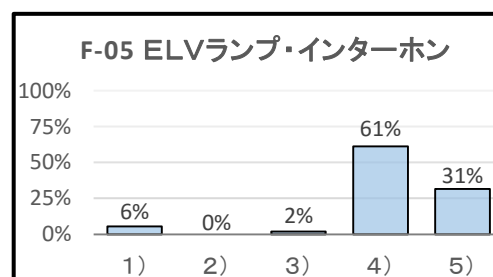
日立：（ドアシグナル）

<http://www.hbs.co.jp/products/renewal/elevator/function/doorsignal/>

P29 イラストF 参照

アンケート Q&A 結果

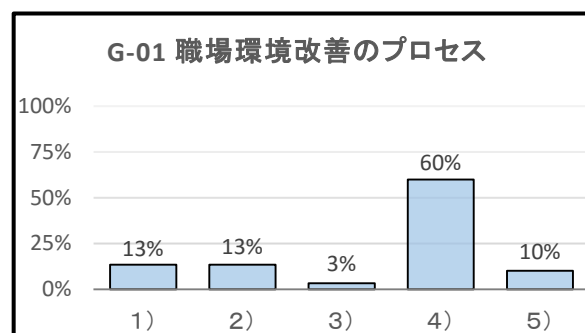
- | | |
|-----------------|--------|
| 1) つけている | = 3 社 |
| 2) 1年以内につけたい | = 0 社 |
| 3) 数年以内につけたい | = 1 社 |
| 4) つける予定はない | = 33 社 |
| 5) エレベーターが存在しない | = 17 社 |



職場環境改善のプロセスについて

G-01 バリアの解決までのプロセス

以上のBからFまで、各回答最上段の「置いている」「取り付けている」「設けている」「つけている」「流している」「使っている」「とっている」「常時開いている」等に1つでも当てはまる場所がありましたら、主な“プロセス”についてお聞かせください。



聴覚障害者の職場環境のバリアフリー化は、設計事務所や施工業者による提案が1番多いことが分かります。出来ることなら、ハード面のバリアの解決については、このガイドブックを参考にして聴覚障害者関係の団体や行政、本人とも話し合いながら、設けたり付けたりすると良いでしょう。また、聴覚に障害をもった一級建築士もいますので、聴覚障害に関しては、そこで相談するのも一案です。

★ウェブサイト：【ユニバーサルデザイン オフィス 聴覚障害者】+検索

<http://各サイト>

★ウェブサイト：【日本聴覚障害者建築協会】+検索

<http://www.aajd.org/>

★ウェブサイト：【国際ユニバーサルデザイン協議会】+検索

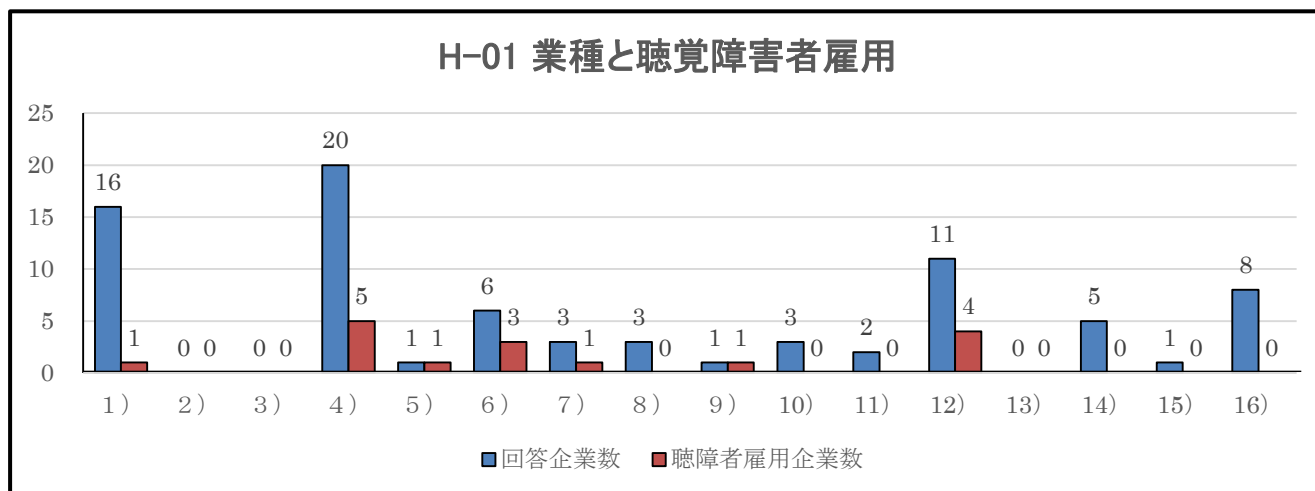
<http://www.iaud.net/>

アンケート Q&A 結果

- | | |
|---|-------|
| 1) 本人と話しあって、設けたり付けたりしている。 | = 4社 |
| 2) 専門家に聞いたりガイドブック等を参考にしたりして、設けたり付けたりしている。 | = 4社 |
| 3) 聴覚障害者を雇用している他企業と相談して、設けたり付けたりしている。 | = 1社 |
| 4) 設計事務所や施工業者等の提案を受けて、設けたり付けたりしている。 | = 18社 |
| 5) インターネットで調べて、設けたり付けたりしている。 | = 3社 |

業種について

H-01 アンケートにお答えいただいた企業の業種



今回のアンケート調査では、兵庫労働局に情報開示して頂いた企業のうち、神戸市（隣接する三田市の一部も含む）の障害者雇用率達成企業を対象に、兵庫県立福祉のまちづくり研究所で実施したものです。その結果、「製造業」「医療・福祉」「卸売業・小売業」が回答トップを占めましたが、聴覚障害者雇用は「製造業」「卸売業・小売業」「運輸業・郵便業」がトップを占めました。

★ウェブサイト：【福祉のまちづくり研究所】+ 検索
<http://www.assistech.hwc.or.jp/>

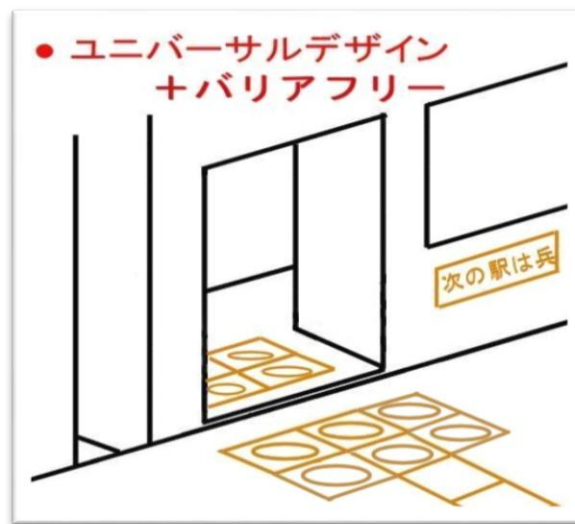
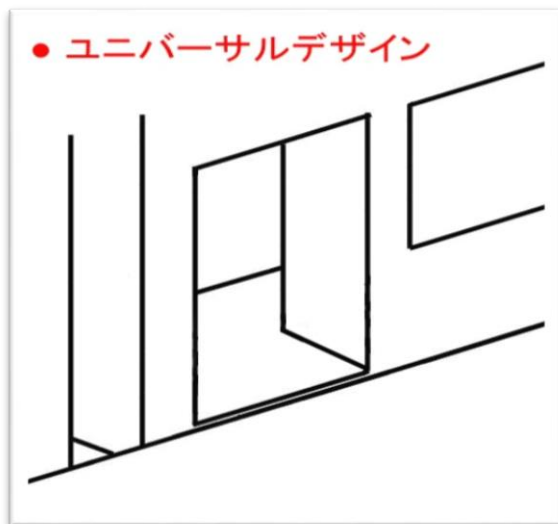
アンケート Q&A 結果

1) 医療・福祉	= 16 社 (1 社)	9) 複合サービス事業	= 1 社 (1 社)
2) 生活関連サービス業, 娯楽業	= 0 社 (0 社)	10) 学術研究, 専門・技術サービス業	= 3 社 (0 社)
3) 電気・ガス・熱供給・水道業	= 0 社 (0 社)	11) 建設業	= 2 社 (0 社)
4) 製造業	= 20 社 (5 社)	12) 卸売業, 小売業	= 11 社 (4 社)
5) 金融業, 保険業	= 1 社 (1 社)	13) 情報通信業	= 0 社 (0 社)
6) 運輸業, 郵便業	= 6 社 (3 社)	14) 教育・学習支援業	= 5 社 (0 社)
7) サービス業	= 3 社 (1 社)	15) 不動産業, 物品賃貸業	= 1 社 (0 社)
8) 宿泊業, 飲食サービス業	= 3 社 (0 社)	16) その他	= 8 社 (0 社)

() は、うち聴覚障害者を雇用している企業数 (無回答 1 社)

ユニバーサルデザインとバリアフリーについて

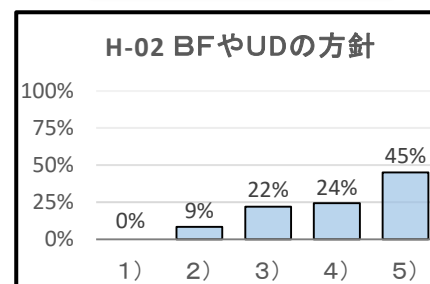
H-02 バリアフリー(BF)とユニバーサルデザイン(UD)について



BFとUDの違いは、以下の通りです。

	バリアフリー デザイン	ユニバーサル デザイン
対象	主として障害のある 人や高齢者	すべての人
基本的な 考え方	(現存する)バリアを なくす = 事後対策	最初からバリアの ない設計を目指す = 事前対策
位置づけ	技術的側面が強い	コンセプト

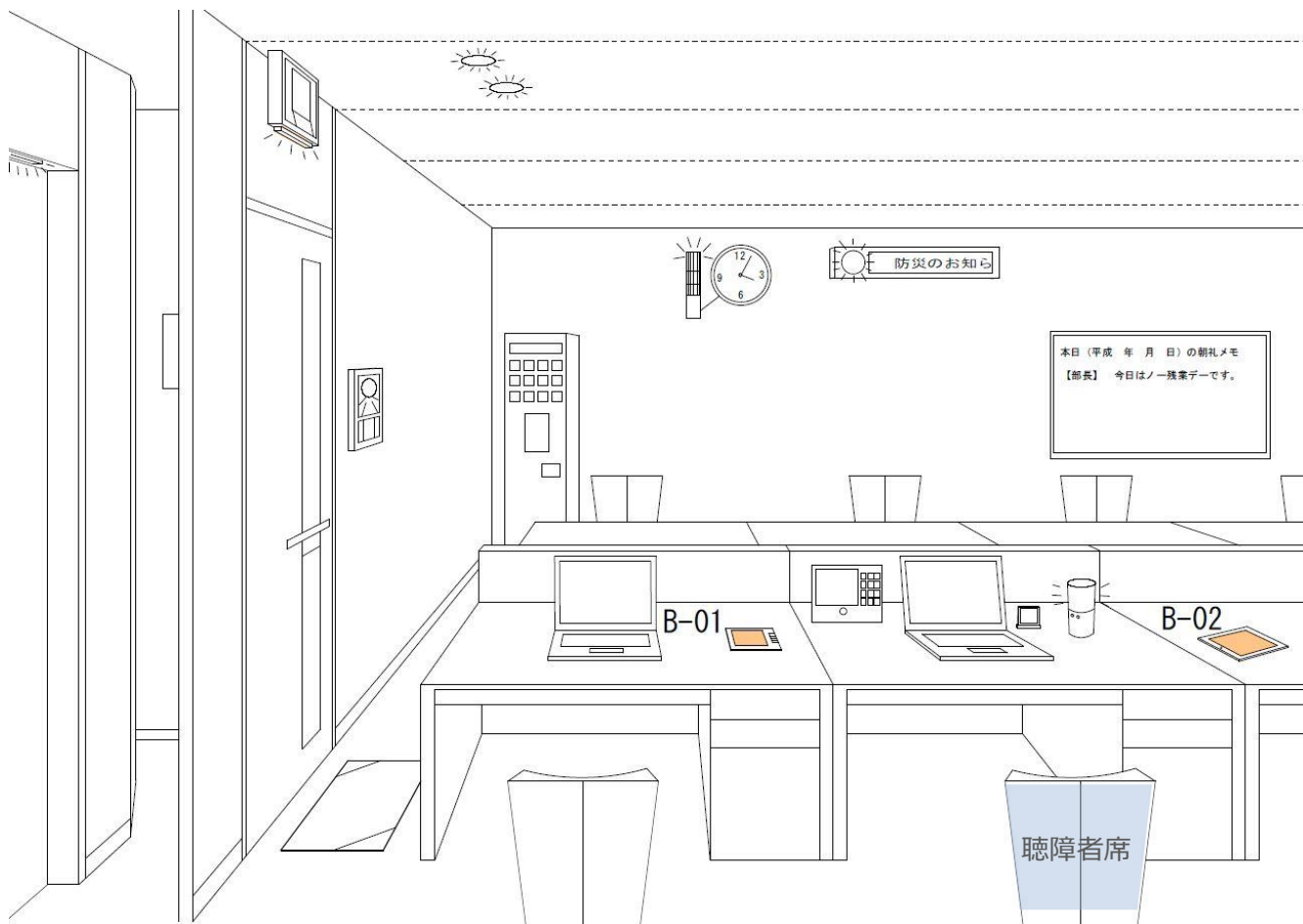
「高齢者環境設計論」第07回 2004/11/12：福田亮子氏を加筆修正



アンケートQ&A結果

- 1) 聴覚障害者の意見を聞き戦略的に自立できるようBF・UDを一括で実現したい。 = 0社
- 2) 聴覚障害者の意見を聞きながら、BFやUDを出来るところから順次実現したい。 = 7社
- 3) 聴覚の職場・建築環境のBFやUDでガイドブックがあれば読んで検討したい。 = 18社
- 4) コスト面で建築の改造や支援機器の手配が困難で、当面周りに支援してもらおう。 = 20社
- 5) 聴覚障害者の職場環境におけるBFやUDについてはわからない。 = 37社

聴覚障害者 「会話の配慮」 (イラストB)

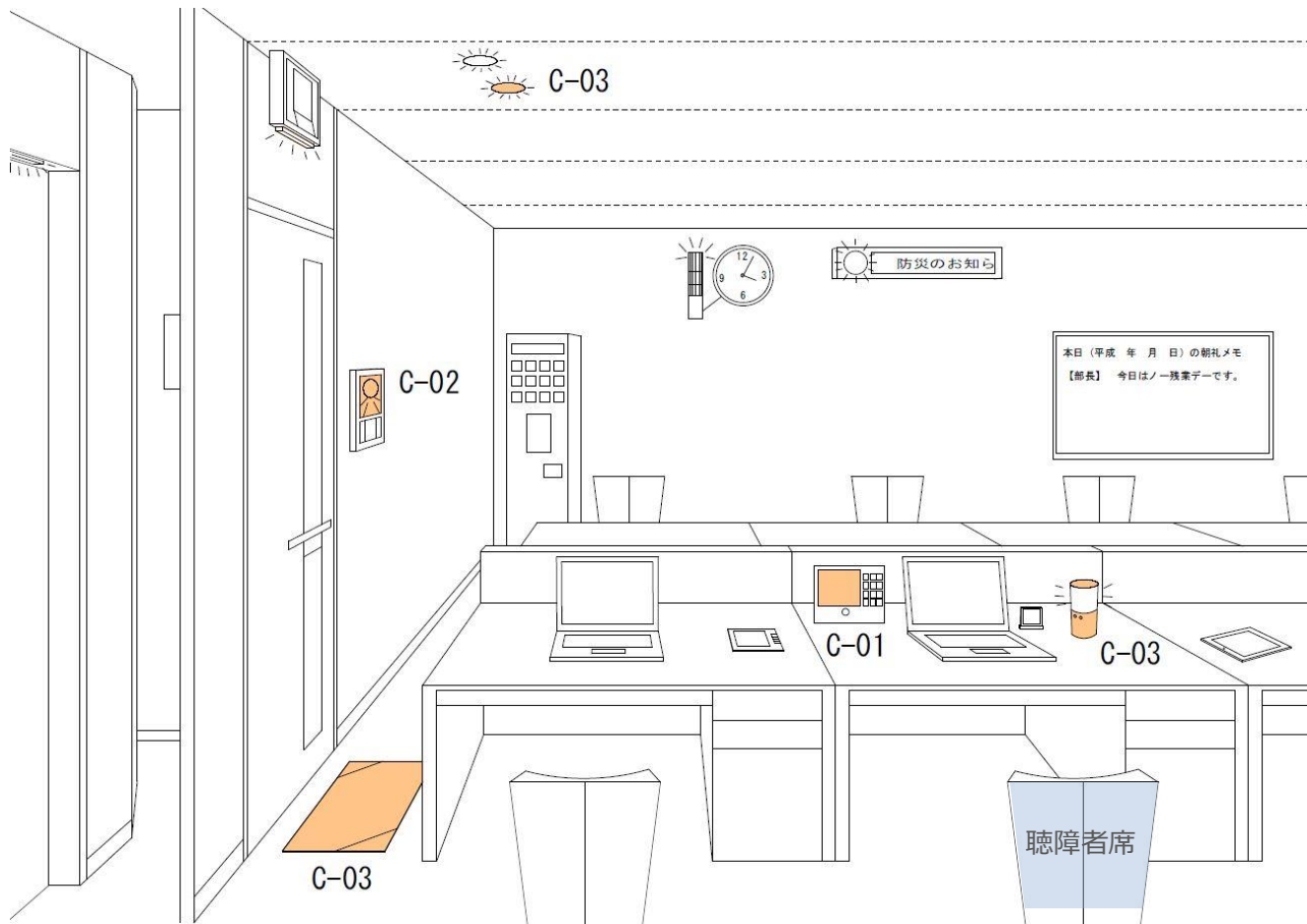


B-01 書いては消せる「筆談ボード」 (または、使い捨ての「メモ用紙」)

B-02 手話辞典、音声文字変換、手書きアプリ入りの「スマートフォン」や「タブレット」

聴覚障害者 「連絡の配慮」

聴覚障害者 「連絡の配慮」 (イラストC)

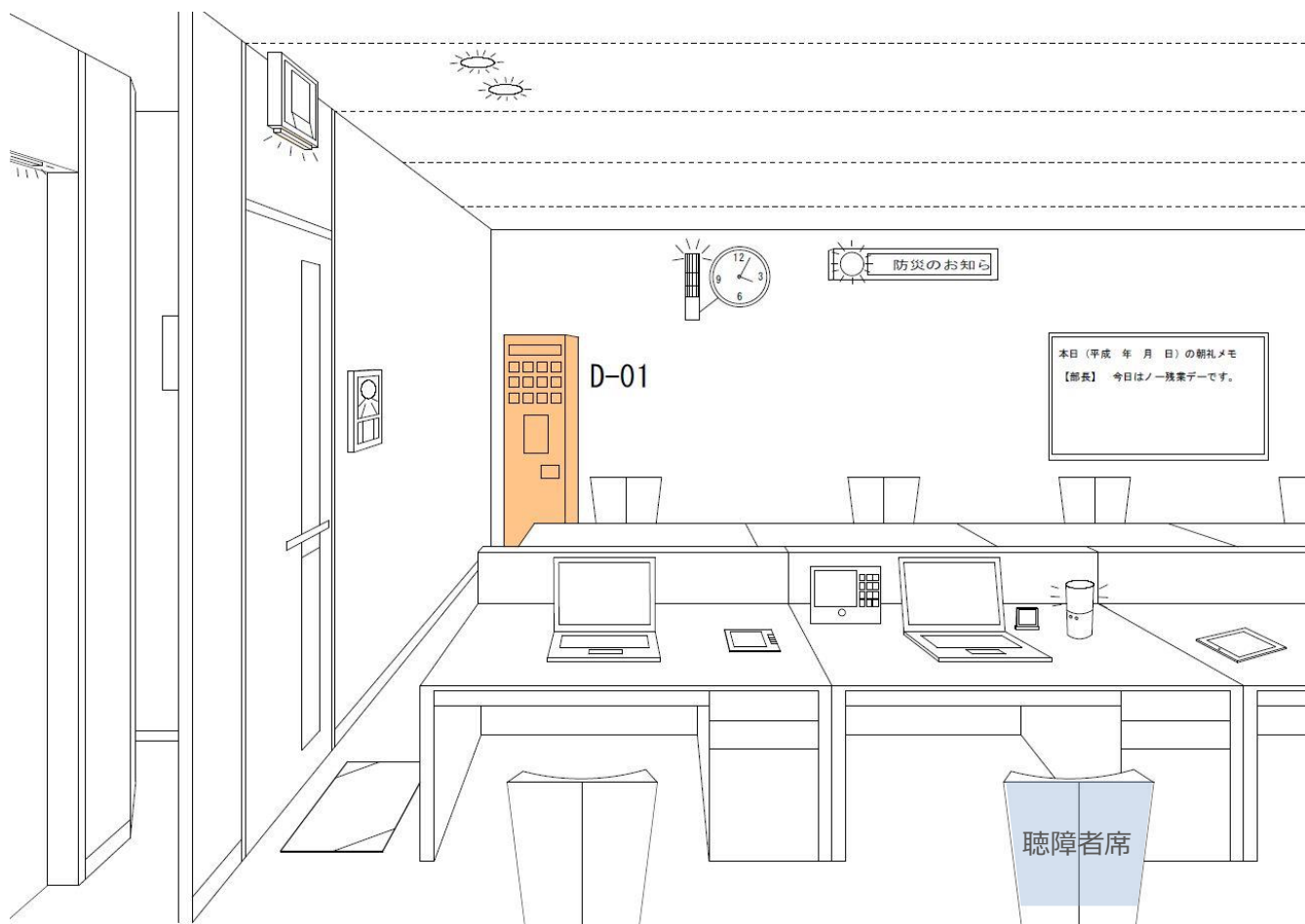


C-01 相手の顔・手話・口の動きや相手から示されたメモ用紙が見える「テレビ電話」

C-02 ドア越しに来客の顔が見える「顔映像モニター付きインターホン」

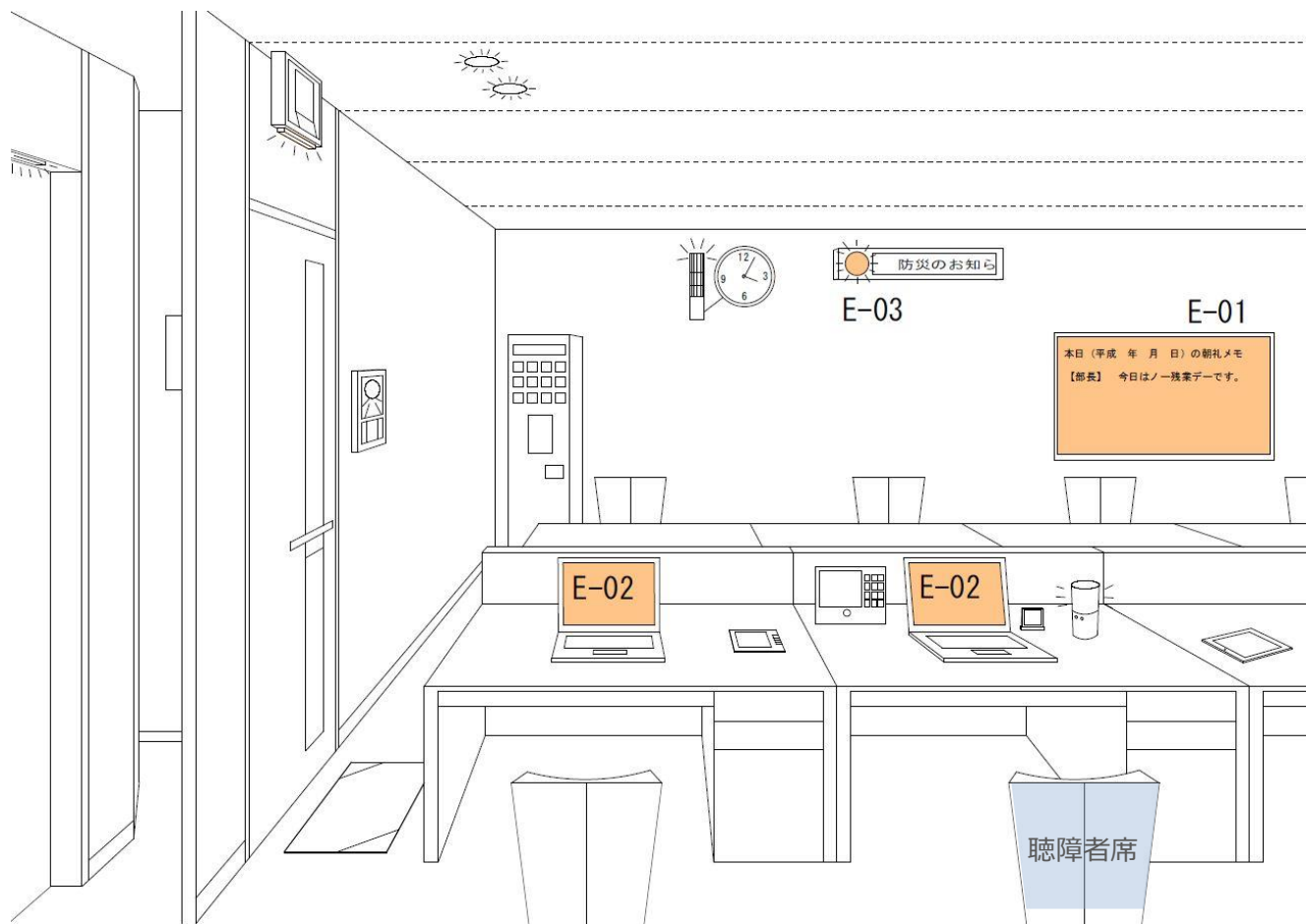
C-03 床の「センサーマット」を踏んでいただくと、無線受信ストロボで光る「お知らせランプ」

聴覚障害者 「選択の配慮」 (イラスト D)



D-01 相手に声で説明することなく、自分で好みを選択できる「自動販売機」

聴覚障害者 「情報の配慮」 (イラストE)

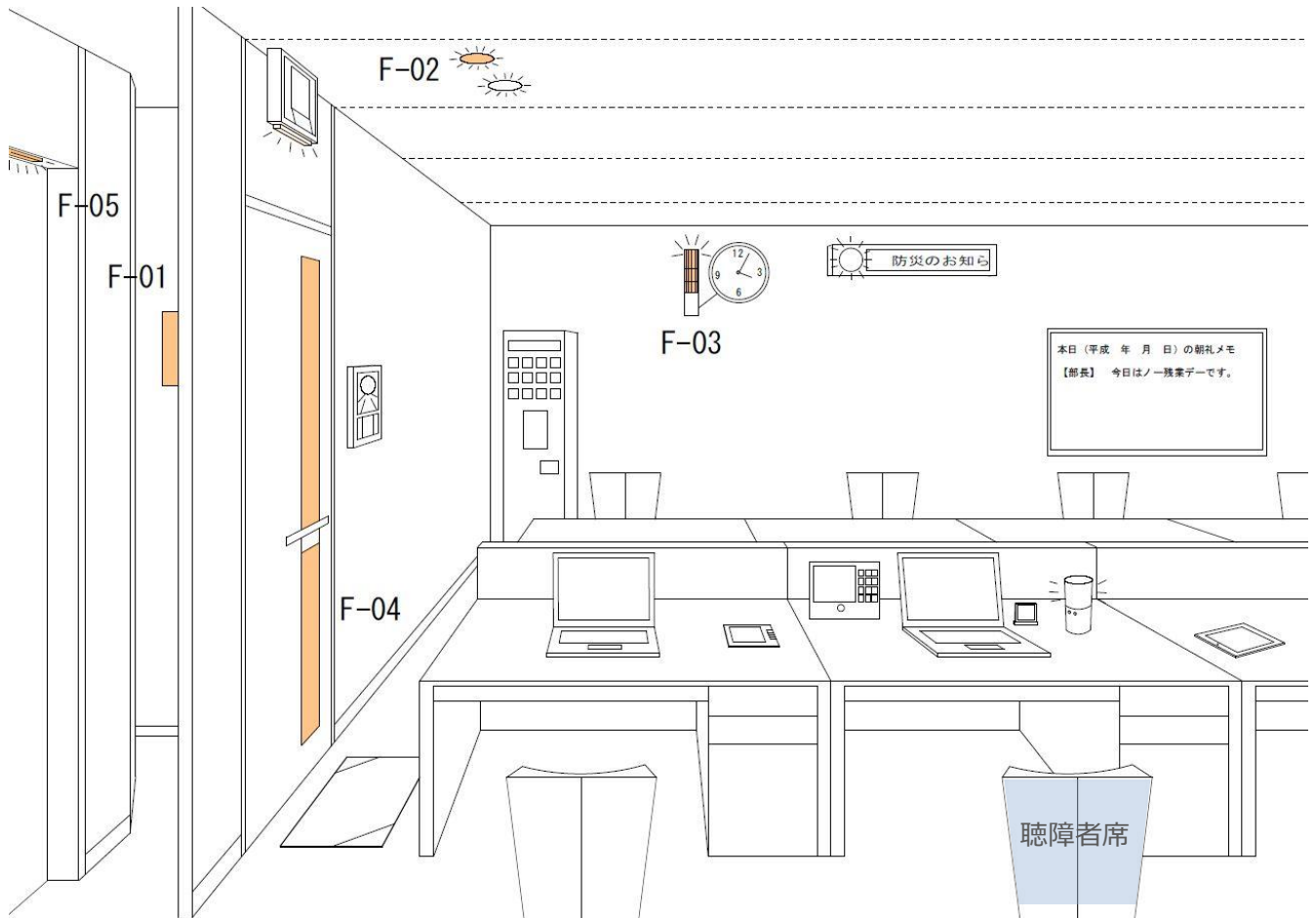


E-01 社内情報を「大型ディスプレイ」や「ホワイトボード」等で常時表示

E-02 協力して頂くことで会議等に戦略参加できる、各「パソコン」連動を利用したノートテイク

E-03 非常放送と同時に視覚的に連動する「非常ストロボ」と「非常文字表示装置」

聴覚障害者 「建物の配慮」 (イラストF)



F-01 廊下の死角を「衝突防止ミラー」で設置することで衝突を防止

F-02 感知器に連動する「光るフラッシュランプ」で非常事態を理解

F-03 感知器や時計に連動する「パトライト」で非常、始業、終業を理解

F-04 出入りの衝突を避けるための「ガラス小窓」の付いた出入口ドア

F-05 開閉や定員オーバーが視覚的に分かるよう、エレベーター出入口に取り付けられた「ドアシグナルランプ」

チェックリスト

■ アンケートをチェックしてみましょう。

A- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
B- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
0 2	1)	2)	3)	4)	5)
C- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
0 2	1)	2)	3)	4)	5)
0 3	1)	2)	3)	4)	5)
D- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
E- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
0 2	1)	2)	3)	4)	5)
0 3	1)	2)	3)	4)	5)
0 4	1)	2)	3)	4)	5)
F- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
0 2	1)	2)	3)	4)	5)
0 3	1)	2)	3)	4)	5)
0 4	1)	2)	3)	4)	5)
0 5	1)	2)	3)	4)	5)
G- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
H- 0 1	1)	2)	3)	4)	5)
	6)	7)	8)	9)	10)
	11)	12)	13)	14)	15)
	16)				
0 2	1)	2)	3)	4)	5)
お気づきの点					

著作者

三谷 信之
研究課 居住グループ



聴覚障害者

工学修士

一級建築士・介護福祉士

研究所

兵庫県立福祉のまちづくり研究所

The Hyogo Institute of Assistive Technology

〒651-2181 神戸市西区曙町 1070

兵庫県立総合リハビリテーションセンター内

Tel 078-925-9283 (直通)

Fax 078-925-9284 (直通)

ホームページ <http://www.assistech.hwc.or.jp>

e-mail: info00@assistech.hwc.or.jp

著作権

このガイドブックに記載している情報の著作権は、編集・発行の兵庫県立福祉のまちづくり研究所にあります。

内容の一部あるいは全部を無断で複製することは著作権の侵害になりますので、その場合には、あらかじめ兵庫県立福祉のまちづくり研究所の承諾を求めてください。

謝 辞

本研究の聴覚障害者の職場環境アンケート調査にご協力いただいた兵庫労働局や兵庫県内各企業人事担当の方々や、ガイドブックの監修にご尽力いただきました研究第一グループ研究員の皆様をはじめとする関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

【ダウンロード】

http://www.assistech.hwc.or.jp/kenkyu/pdf/publication/guide_book.pdf

- Ver.1.0 2015（平成 27）年 3 月 初版発行
- Ver.1.1 2015（平成 27）年 6 月 第 2 版発行 [誤字脱字の修正等]
- Ver.2.0 2016（平成 28）年 9 月 第 3 版発行 [E-02 会議、H-02 UD の図を変更等]

HYOGO
ASSISTECH